

三団体共同わがまち学ぼう事業——生涯学習とボランティアの勧め——

<事業実績報告書>

1. 事業の概要

本事業は、市民に対してわがまち高槻の歴史遺産・文化財の素晴らしさを伝え、より親しんでもらえるよう、高槻でボランティア活動を行う三団体が共同して実施したもので、5回のイベント(講演会とフィールドワーク)により生涯学習とボランティアの楽しさ・やりがいをアピールした。

フィールドワークでは参加者に呼び掛け清掃ボランティアを実践した。

(1) 事業の内容

① 講演会「すばらしき高槻の歴史・文化財」

・平成21年9月25日(金) 13時～16時/高槻市立生涯学習センター

○古代の高槻 卑弥呼と継体大王

講師 水野正好氏(財団法人大阪府文化財センター理事長)

○天下統一 高槻城と芥川山城

講師 中井均氏(NPO法人城郭遺産による街づくり協議会理事長)

○鼎談 歴史遺産を生かしたまちづくり

水野、中井、鐘ヶ江(高槻市文化財課課長)の3氏

※参加者 148人

② 講演会「すばらしき生涯学習&ボランティア」

・平成21年10月19日(月) 13時～16時/高槻市立生涯学習センター

○生涯学習の楽しみ

講師 一井真理子氏(NPO法人大阪生涯学習インストラクターの会理事長)

○ボランティアのやりがい

講師 矢形律子氏(高槻市ボランティア・市民活動センター所長)

○三団体実践活動紹介

※参加者 103人

③ 学習&ボランティアの実践(1)

フィールドワーク<伝統の酒造りと寺内町富田>

・平成21年11月18日(水) 13時～16時

(当初11日の予定を雨天のため延期)

小寺池図書館を起点に普門寺・三輪神社・本照寺・清鶴酒造などを散策。5班に分け三団体のメンバーがガイド。参加者に軍手・ゴミ袋・はさみを渡し清掃作業を実施。

※参加者 62人

④ 学習&ボランティアの実践(2)

フィールドワーク<今城塚からハニワの故郷へ>

・平成21年12月2日(水) 9時30分～13時

JR高槻駅を起点に芥川宿・今城塚・鬮鶏山神社を経てハニワ工場公園まで。清掃活動実施。ハニワ公園で教育委員会主催のボランティア講座への参加を呼びかけ。

帰路は「上土室」から「富田」まで市バス臨時便をチャーター。

※参加者 85人

⑤学習&ボランティアの実践(3)

フィールドワーク<高山右近や永井家の城跡を巡る>

・平成22年2月10日(水)9時30分~12時

現代劇場を起点に城跡、寺町を経てしろあと歴史館まで。歴史館では学芸員による企画展の展示解説。

※参加者 73人

2. 参加者の応募状況及び事業に対する感想・意見(アンケート結果から)

(1)応募状況

- ・150人の募集に対して154人の応募があった。
- ・告知は市内の図書館・公民館・しろあと歴史館でのチラシ掲示を主としたが、広報高槻(8月25日)に掲載されたことが大きく、参加者の55%が広報によるものであった。
- ・参加者の構成は、男女別では男性52%、女性48%と女性の参加が意外に多かった。年代別では60歳代が56%、70歳代が34%、50歳代6%と、60歳以上が大半を占めた。

(2)感想・意見

- ・講演会については「大変良かった」「良かった」が①95%②58%と概ね好評であった。
- ・フィールドワークについては「大変良かった」「良かった」が⑤97%と好評であった。
- ・わがまち学ぼう事業について聞いたところ「タイムリーで充実した企画」「今後も続けて欲しい」など評価する意見が多かった。
- ・講演会①については「高槻の歴史を全然知らなかった」「水野先生の話で再認識した」「高槻に城があったことを誇りに思う」「引き続き歴史に関する講演をやって欲しい」など。
- ・反面「時間が短かすぎる」「講師の言葉が聞き取りにくい」などの批判も。
- ・また「芥川山城周辺や西国街道の整備を」「高槻城周辺の古い写真を募集してはどうか」など、行政に対する要望や事業の提案もあった。
- ・講演会②については、歴史遺産・文化財のボランティアについて尋ねたところ「参加したい」4%、「機会があれば」65%との答であった。感想としては「自分が何をしたいか、何からやりだすか考えるきっかけになった」「ボランティア活動の大変さを知り参考になった」「生涯学習について、80歳からが本番」などの声も聞かれた。
- ・フィールドワークについては「ガイドは良く勉強されていて参考になった」「親切、丁寧、ユーモアがあり大変良かった」「何時も見ている高槻の町並みやお寺の歴史的な価値が良く分かった」。反面「場所によってはもう少しゆっくり見たかった」という声も。

3. 事業の成果、今後の展望

(1)成果

- ①参加者が150人を超え、また各イベントに対しても高い評価を受けた。
- ②参加者からは「高槻の文化遺産の素晴らしさを初めて知った」「今後も続けてやって欲しい」などの声が多数あり、時宜を得た事業であったと言える。
- ③60歳以上の参加者が大半を占めており、中高年層における生涯学習への強い意欲が感じられた。

(2)今後の課題

- ①高槻の歴史遺産・文化財の保護・啓発に向けて、地道な活動の継続が必要である。
- ②生涯学習だけでなく、それを外部に発信していく意識を醸成しなければならない。
- ③行政においても歴史遺産・文化財の保存・整備をさらに進めていく必要がある。

以上